

鹿嶋の魅力英語で

鹿野中 留学生と交流授業

鹿嶋市城山の市立鹿野中（太田雄介校長）で2月20、21日の2日間、留学生と英会話を楽しむ「英語交流授業」が開かれた。2年生100人が鹿嶋学園高（常井安文校長）の留学生と趣味や好きな食べ物について話したり、同市の魅力を伝えたりして交流を深めた。

同授業は、年間で20時間ある「コミュニケーション英語」の一環で実施。簡単な言葉を使って、即座に自分の思いなどを伝える能力の向上を目指している。

授業には、中国やベトナム

ムからの留学生計8人が参加。留学生が1人ずつ各グループに加わる形で行われ、自己紹介の後、生徒たちはスライドを使いながら日本のアニメや音楽、市の観光スポット、飲食店などを発表した。

留学生は発表内容について積極的に質問。開始直後に不安げな表情を浮かべていた生徒も徐々に打ち解け、「好きなアニメは？」「ここ行ったことある？」などと話しかけ、話が弾む場面が見られた。

いずれも同じグループ

で、鹿島神宮や県立カシマサッカースタジアム、平井海水浴場を紹介した泉谷優心さん(14)は「英文で、どのように表現すれば伝わるか考えて発表できた」、森下宇情さん(14)は「もっと英語を学んで、いつか海外に行ってみたいという気持ちになった」などと感想を述べた。



鹿嶋学園高の留学生と英語で交流する生徒たち。鹿嶋市城山

(松本篤史)